



琴浦熱中
小学

TOTTORI KOTOURA
熱中小学校

琴浦熱中小学校の生徒会長と
次の授業に向けた打ち合わせ



元気な高齢者をもっと輝かせたい

「琴浦町地域おこし協力隊」
協力隊になったきっかけは？

2017年の秋、私はヒッチハイク旅の途中、たまたま琴浦町を訪ねました。そこで知り合った琴浦町協力隊の方の自宅に1週間も滞在。たくさんの友だちができて、本当に楽しい、輝いた時間でした。

福岡に帰っても鳥取が忘れられず、その冬に大山スキー場のアルパイトで再訪。偶然にもその期間中、琴浦町で協力隊の募集がありました。任務は「元気なまちづくりコーディネーター」。秋に泊めてくれた先輩協力隊との縁もあり、おもしろそうだと思いましたが、旅先での出会いや募集のタイミング、いくつもの偶然が重なり合って、今、ここにあります。

現在の活動と今後の夢は？

着任して間もなく、「とっとり琴浦

まっお たくま
松尾 匠真 さん

熱中小学校が始まり、事務局として日程調整や連絡、広報などを担当しています。

熱中小学校の動画制作を手がけるうち、琴浦町に来てから抱いた「高齢者の方々にもっと輝き続けてほしい」という思いを形にできる気がしました。それは、一人ひとりが主人公の映像づくり。元気な姿を動画にとどめて、本人もより生き生きできる、ポジティブな終活を提案したい。既に依頼の声もいただいております。任期中後は、この終活動画の普及と制作を仕事にしたいと考えています。

また、浦安駅前にある空き店舗をコミュニティスペースにしようと、協力隊3人で企画中です。琴浦町の人々はまちづくりへの意欲が高く、私たちも多くの応援をいただいています。力を合わせて活気を起こしたいと思っています。



浦安駅前商店街の空き店舗を、協力隊3人で「カフェまほのほの」として再生中高橋さんがカレーを提供予定

PROFILE

飲食店店長から公務員へ転職活動の最中、飛行機に乗り損ねたのをきっかけにヒッチハイクに目覚め、日本2周目の途中で琴浦町に繋がる縁を得る。趣味はギター弾き語り。

- 活動内容／熱中小学校事務局及び情報発信
- 出身地／福岡県福岡市
- 活動地域／琴浦町全域
- 活動開始年月／2018年4月



可能性は未知数！琴浦町を元気にしたい

「琴浦町地域おこし協力隊」

協力隊になったきっかけは？

地元の対馬にいる時に地域おこし協力隊の方と交流した経験があり、関連書籍も読んだので、どういう制度か知っていました。でも、自分かなとは思わなかったです。

福岡の大学を休学中、高知県山間部で農業体験などをして3週間滞りました。極度に電話が苦手で帰りのバス乗車券を予約できず、居残ったら主催者の方が「鳥取に遊びに行くから一緒に行こう」と。鳥取でもてなしてくれたのが、琴浦町の協力隊員でした。

鳥取での観光や地域交流は楽しく、6日間の滞在もあっという間。結局そのときの縁がきっかけで、琴浦町の協力隊員になりました。

現在の活動と今後の夢は？

琴浦町で活動するまちづくり団

くわ あつみ
久和 温実 さん

体の支援や、その中間支援組織「琴浦まちづくりネットワーク」事務局の手伝いなどを行っています。加盟団体が互いの組織やまち全体を考える「水曜サロン」を会長と立ち上げ、月1度開催。毎回10人前後の方に参加いただいています。

また、町の事業に関わるチラシや広報物を制作しています。複雑な制度や手続きをわかりやすく伝える業務はやりがいがあり、今後の仕事に繋がりたいと考えています。

私の任務「元気なまちづくりコーディネーター」は、幅広くさまざまなことに挑戦できます。協力隊の肩書きが信用となり、地域の応援や普通の移住ではできなかった経験をえています。やりたいことが、まだまだたくさん。協力隊制度の認知度は十分ではないと感じるので、私たちがいいイメージを作っていきたいと思っています。



PROFILE

グラフィックファシリテーションや里親制度、土産物開発、接客など、多方面にわり興味尽きない。現在、コミュニティスペースを兼ねられる一軒家の購入を検討中。

- 活動内容／まちづくり活動の支援、町広報物制作など
- 出身地／長崎県対馬市
- 活動地域／琴浦町全域
- 活動開始年月／2018年4月



町から依頼されているポスターなどをデザイン中。ペンタブレットを愛用



印刷物を主に、看板イラストなども手がける